

●上北沢桜並木会議の花芽観察会に参加（2月26日（日））

京王線上北沢駅から南西に斜めに走る約200mの桜並木には、1924（大正13）年に住宅地が開発されたときに植えられた桜が現在45本残っているそうです。

上北沢にお住まいで上北沢桜並木会議の指導をされている石井誠治樹木医（当フォーラムのみどりのまち歩き講師）にサクラの病虫害、サクラの生長とその阻害条件、オオシマザクラとソメイヨノの花芽の見分け方（前者はつやがあり、後者は産毛が生えている）などの説明をうかがいつつ観察しました。2012年に徳島で初めて観察されたクビアカツヤカミキリによる虫害の蔓延を防げるかが今後の大きな課題であること、こぶ病（原因は未解明）が見られるようになっているので、注意が必要などの警告もいただき、参考になりました。当フォーラムの花芽観察会への参加は、平成24年以来、2回目（ニュースレター第8号に報告）です。（稲垣参加）



上北沢の桜並木（2012年4月）

●さくらフォーラムから

●まち歩きコースコンテストで特別賞として東京急行電鉄賞を受賞

まち歩きコースコンテストは、世田谷まちなか観光協議会と世田谷区産業振興公社が企画・実施したもので、1月21日（土）開催のまちなか観光メッセで、提案されたコース24のプレゼンテーションの後、審査員の審査による最優秀賞1点と特別賞（東急電鉄賞）1点、来場者の投票による優秀賞3点が選ばれました。

コンテスト趣旨：世田谷区には、豊かな自然や文化施設、個性豊かな商店街など、多様な魅力があふれています。そんな魅力をつないで歩く「まちなか観光」を、もっと多くの皆様楽しんでいただくことを目的にまち歩きコースコンテストを開催いたします。

コースの条件：①スタートは、区内の鉄道駅とする。②1コースに盛り込むスポット（スタートの駅を除く）は、8箇所以内。③徒歩による。

審査基準：○世田谷区の魅力を味わえる、まち歩きに適した内容であるか。○既存コースにとらわれず、新たなコース・視点となっているか。（既存のコースの場合は、新たな視点が付与されているか。）○写真や絵を活用するなど、メッセでの掲示を見る方に配慮し、ビジュアル面も配慮されているか。○独自の視点があるか。

全応募コース：<http://www.setagaya-icl.or.jp/messe2nd/ichiran/index.html> にアップされています。

受賞コース：大賞「ぐるり・しもきたざわ〜6つの教会をめぐる旅〜」 優秀賞「三茶五色めぐり」、「時代双六代官様の小江戸散歩」、「成城こそ映画の街 世界のクロサワ映画と東宝娯楽映画・ロケ地巡り（半日コース）」

●「深沢・桜新町100年史」の有償版（定価500円）を増刷・配布しています。

購入ご希望の方は、下記までなるべくファックスで、ご住所、お名前、お電話番号をお知らせの上、お申込みください。

●**会員募集中：**この地域の景観・環境・みどりなどに関心のおありの方は、ぜひ、ご参加ください。



深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくりの活動に取り組む市民団体です。<http://sakura-forum.jimdo.com/>
2、3面：まち歩きコースコンテスト受賞コース、道路の呼び名・通称名 4面：まち歩きコースコンテストについてほか

4月2日（日）開催 —「深沢・桜新町100年史」をたどって

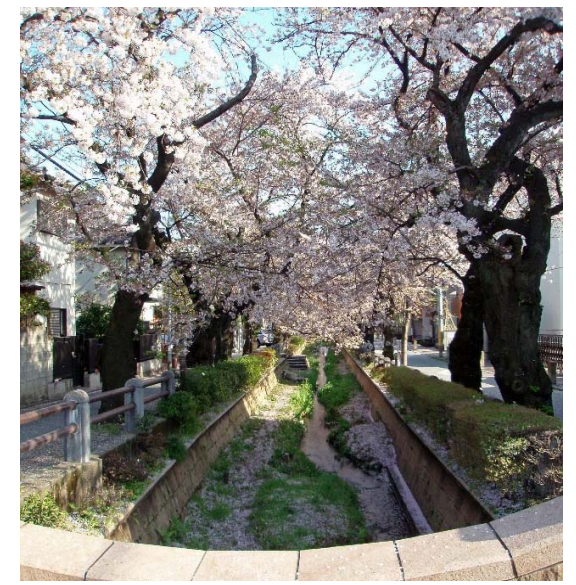
春爛漫の深沢・桜新町の

「お花見まち歩き」にご参加ください！



西大通りの桜並木

いちどでも
ほめてあげられたらなあ...と
さくらのことばで
そのまんかいを...
まど みちお*



呑川親水公園

集合：桜新町区民集会所玄関前 4月2日10時 少雨決行

解散：深沢八丁目無原罪特別保護区入口 12時半頃

参加費：100円（保険料ほか）

申込み：定員20人程度（申込み・当日先着順）。

なるべくお申込みください。（電話：3702-3274 またはホームページから）

*まど・みちお、
「さくら」から抜粋
『花いっぱい』、1997年

●まち歩きコースコンテストで特別賞を受賞しました。

「お花見まち歩き」では、受賞コース（約2km）を含むコース（約4km）を歩みます。

受賞コースとコンテストについて、詳しくは、2～3面、4面をご覧ください。

発行元：深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/>
〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話：03(3702)3274 FAX:03(3702)3219
©深沢・桜新町さくらフォーラム、2017
世田谷区地域の絆ネットワーク支援事業補助金を受けて作成しました。

まち歩きコースコンテストで、下図のコースが特別賞として東京急行電鉄賞を受賞しました。(4面をご覧ください。)

新町住宅地 100年の歴史をたどる 桜並木とサザエさんと緑と水と

◆: サザエさん一家の銅像があります

2 長谷川町子美術館 (有料)
・Y字交差点を右に行くと、区民集会所の少し先にある美術館。長谷川町子さん蒐集の美術品展示のほか、サザエさん関連展示もあります。サザエさんグッズも豊富!!
・サザエさんの作者長谷川町子さんは、このまちに住み、サザエさん一家もこのまちに住んでいる設定でした。

1 桜新町区民集会所と「信託住宅発祥地」の石標
・桜新町駅を出て左折、サザエさん通りを歩くと、交番のあるY字交差点に至ります。ここが新町住宅地の入口。区民集会所のある場所は、住民のための施設がありました。信託住宅発祥地の石標もあります。(信託住宅とは、東京信託株式会社が分譲したことによる。)

3 桜新町一丁目緑地 (通称サザエさん公園)
・長谷川町子美術館の道を隔てた南隣りにある公園。新町住宅地の住宅跡地で、お庭を生かした公園になりました。当時の中規模住宅のお庭の様子がしのばれます。サザエさん一家の像もあります。

4 桜並木 (西大通り)
・新町住宅地の骨格道路は、Y字交差点から反時計回りに西大通り→南大通り→東大通り→一周してY字交差点に戻る道路でした。分譲初期に桜が植えられ、桜の名所として有名になり、1932(昭和7)年玉電の停留所名が新町から桜新町に変わりました。現在、西・南・東大通り合わせて、約150本の桜が植わっています。

5 深沢八丁目無原罪特別保護区 (春秋の土日の特別公開日のみ公開)
・新町住宅地中央部の約3,300坪(約10,900㎡)の若尾障八(東京電燈、後の東京電力の社長になった人)邸跡地の一部、当時の庭園部分が世田谷区の特別保護区に指定されています。湧水をたたえる池とうっそうとした多様な樹木の緑が豊かです。公開日にはぜひ訪問してください!

6 深沢の杜緑地
・特別保護区の道を隔てた南の住宅跡地の一部がお庭や門を生かしつつ新しい木も植えた公園になりました。池の水は、特別保護区内の池の水とつながって、さらに東の呑川に流れていました。開園 8:30、閉園 17:00(4月~10月) 16:30(11月~3月)

新町住宅地とは?
関東初の郊外住宅分譲地
1913年に分譲開始
(玉電開通は、1907年)

--- は、新町住宅地のおよその境界



深沢・桜新町 100年史
新町住宅地の分譲開始から100年
私たちのまちを、こうして形づくられました
1913~2013

深沢・桜新町さくらフォーラム

深沢・桜新町 100年史を刊行
A5版、12ページ、全カラー
500円で大好評発売中

8 呑川親水公園
・現在の桜新町駅近くをはじめとする湧水を集めて東京湾に注ぐ呑川。区画整理事業に伴う河川改修の際、1935(昭和10)頃に両岸に桜が植えられました。戦後、下水化しましたが、1993年3月に駒沢通り~玉川通り間の870mが親水公園として開設。「手づくり郷土(ふるさと)賞/人々が集い憩う水辺づくり部門」国土交通大臣表彰

7 清明亭 (都立深沢高校内) (非公開、道路から外観を見学)
・若尾邸と並ぶ大邸宅長尾欽彌(わかもと製薬創業者)邸の跡地で、唯一残った1931(昭和6)年竣工の大江新太郎設計の離れ。(東京都歴史的建造物)凝った数奇屋造りです。現在、耐震改修中。改修後、内部見学の機会があれば、ぜひ訪問を!

「東大通り」、「南大通り」、「西大通り」という呼び名をどうぞよろしく。(左図参照)

一新町住宅地分譲当初からの呼び名です。

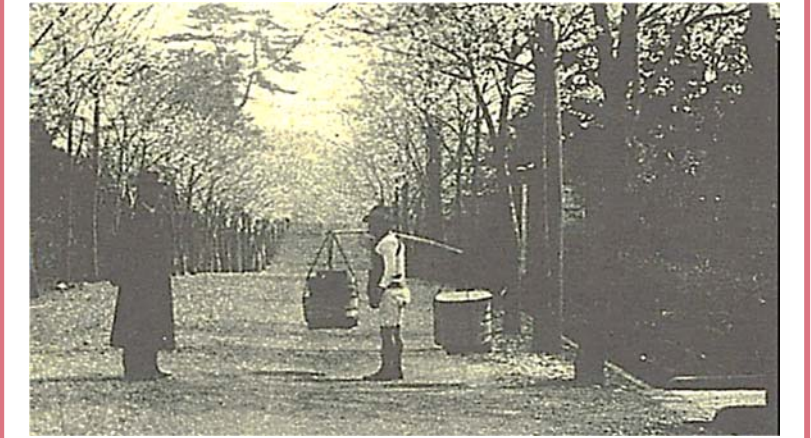
大正2(1913)年に分譲が開始された新町住宅地の幹線道路は、次のように呼ばれていました。

中央通り: 新町停留所から南に伸びてY字交差点まで(現在、両方通行・バス道路)

東大通り: Y字交差点を左に進む分譲地東の幹線道路(現在、南への一方通行・バス道路)

西大通り: Y字交差点を右に進む分譲地西の幹線道路(現在、北への一方通行・バス道路)

南大通り: 東大通りと西大通りを分譲地のほぼ南端でつなぐ道路(現在、バスは通っていません。)



新町東大通り花ノ景
(分譲地を紹介する絵葉書からその一部)

東京信託株式会社が分譲したので、戦前は、Y字交差点から東・南・西大通りを経て元に戻るコースを「会社一周」などと呼んで走ったそうです。

桜新町親和会は、たとえば桜並木のゴミゼロデーの活動(春の花びら清掃、秋の落葉清掃)の際のグループ分けなどに東・西・南大通りの呼び名を使っています。

「サザエさん通り」とは?

旧玉電通り(駅前通り)の桜新町交差点を起点として南に伸び、Y字交差点を左に東大通りをたどって玉川通りに至る区間がサザエさん通りです。(東大通りの一部は、サザエさん通りと重なっています。)1985(昭和60)年に長谷川美術館(当時)が開館、1987(昭和62)年に「サザエさん通り」と命名されました。

なお、2012(平成24)年、故長谷川町子さんが散歩しながら登場人物の名前を考えた百道海岸(福岡市)の市道に「サザエさん通り」が誕生したそうです。

サザエさんの夕刊「フクニチ」での連載開始は、1946(昭和21)年5月。長谷川町子さんは、同年12月に上京されました。

補足: 上記7の清明亭の耐震改修工事は、終了しました。清明亭については、都立深沢高等学校、せたがや街並保存再生の会のホームページをご覧ください。

道路の呼び名は、どう決まっているのでしょうか? - 通称名とは?

都道や国道では駒沢通りや玉川通り、区道では用賀中町通り、駒沢公園通りなどの呼び名は、通称名といいます。区のホームページに掲載されている道路通称名路線図を見ると、千歳船橋駅の北には森繁通りという通称名の道路があります。これは、森繁久彌氏が住んでいた住宅地に至る道路だそうです。

どういう道路に通称名がつくのでしょうか?

区の場合、次のいずれかに該当するものだそうで、名称は公募されます。

①交通量が多く、区内道路網を形成するのに重要な道路、②歩車道が分離して

いる道路、③幅員はおおむね10m以上、延長はおおむね1km以上の道路、又は、それ以外で区長が必要と認めるもの。

昨年12月にいくつかの道路について通称名の公募があり、3月には結果が発表される予定です。(近隣では、桜新町2丁目から馬事公苑の東側を歩いて世田谷通りに至る道路も通称名公募の対象になっています。)

地元-深沢・桜新町の道路は?

サザエさん通りが通称名に設定されるといいですね。
東大通り、南大通り、西大通りは、ちょっと難しそうですが...